

1. 時系列

平成26年 7月6日

11:10頃 5号機R/B1階北東側 補機冷却海水系 RCW熱交換器出口調整弁 (V-37-91B) 付近の保温材より、指1本程度の漏えいが発生していることをパトロール中の当社社員(当直員)が発見

※漏えい水については、分析結果より、海水と判断

塩素濃度 : 16000ppm
Cs134/Cs137 : 共にND

【漏えい箇所特定のため、SW系および主要負荷であるRCW/FPCを停止】

- 13:10 FPCポンプ(A)停止【停止時プール水温 23.0℃
温度上昇率 0.193℃/h】
- 13:14 RCWポンプ(C)停止
- 13:17 SWポンプ(A)停止
- 13:26 V-37-91A, 91B 「閉」操作
- 13:34 当該箇所からの漏洩の停止を確認

【参考】 漏えい量 約1310㍓

- ・原子炉建屋 1階 約 2m×約3m×深さ約 5mm (約30㍓)
- ・原子炉建屋 中地下階 約 10m×約8m×深さ約 10mm (約800㍓)
- ・原子炉建屋 地下階 約 10m×約3m×深さ約 1mm (約30㍓)
- ・原子炉建屋 地下階 (約6m×約3m×深さ約 50mm) / 2 (約450㍓)



福島第一原子力発電所5号機 補機冷却海水系弁からの漏えいについて

2. 漏えい箇所について (概略図)

